



わたしたちは、 忘れない、あきらめない、屈しない。

— 安倍政治の暴走を許さない —

講演会

講師 堀内 秀雄 和歌山大学名誉教授

(和歌山大学前副学長・NPO法人 わかやまNPOセンター初代理事長)

日時 2015年11月20日(金) 18:00～(受付 17:30)

場所 県勤労福祉会館 プラザホープ2階 多目的室

安倍政治は、9月19日未明、多くの反対の声を押し切って「戦争法(安全保障関連法案)」を参議院本会議で強行採決・成立させました。この行為に抗議する「自由と平和のための京大有志の会」による「あしたのための声明書」(2015年9月19日)をここに紹介します。

あしたのための声明書

わたしたちは、忘れない。
人びとの声に耳をふさぎ、まともに答弁もせず法案を通した首相の厚顔を。
戦争に行きたくないと呼ぶ若者を「利己的」と罵った議員の無恥を。
強行採決も連休を過ぎれば忘れると言いつつ放った官房長官の傲慢を。

わたしたちは、忘れない。
マスコミを懲らしめる、と恫喝した議員の思い上がり。
権力に媚び、おもねるだけの報道人と言論人の醜さを。
居眠りに耽る議員たちの弛緩を。

わたしたちは、忘れない。
声を上げた若者たちの美しさを。
街頭に立ったお年寄りたちの威厳を。
内部からの告発に踏み切った人びとの勇気を。

わたしたちは、忘れない。
戦争の体験者が学生のデモに加わっていた姿を。
路上で、職場で、田んぼで、プラカードを掲げた人びとの決意を。
聞き届けられない声を、それでも上げつづけてきた人びとの苦しく切ない歴史を。

きょうは、はじまりの日。
憲法を貶めた法律を葬り去る作業のはじまり。
賛成票を投じたツケを議員たちが苦々しく噛みしめる日々のはじまり。
人の生命を軽んじ、人の尊厳を踏みじめる独裁政治の終わりののはじまり。
自由と平和への願いをさらに深く、さらに広く共有するための、あらゆる試みのはじまり。

わたしたちは、忘れない、あきらめない、屈しない。

自由と平和のための京大有志の会